



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



[写真提供：東京美装興業(株)東北支店盛岡営業所鹿角事業所]

contents

- ◎「美の国あきた鹿角国体」競技会場紹介…………… 2
- ◎第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に向けて… 3
- ◎第76回国民体育大会冬季大会に向けて…………… 4
- ◎高校スポーツ いざ、冬の陣…………… 6
- ◎中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト ……10

- ◎期待のジュニアアスリート VOL.8……………11
- ◎TOKYO 2020 オリ・パラ ホストタウン……………12
- ◎2020アスリート支援YouTube企業セミナー ……13
- ◎県内スポーツの主なできごと・寄付者・賛助会員……………14

オフィシャルパートナー

秋田ゼロックス株式会社

ISUZU 秋田いすゞ自動車株式会社

DOWA



第76国民体育大会冬季大会スキー競技会 美の国あきた鹿角国体

競技会場紹介

伝えよう感動 繋げよう絆

(アルペンコース)

標高750m、全長1,011mのジャイアントコース。最大斜度30°にS字の片斜面が更に難易度をあげる、まさに挑むに申し分ないタフなバーン。2020年、新たに8基の人工降雪機を設置しコースコンディションに万全を期す。



(クロスカントリーコース)

コース幅が約10m、全長が2.5kmと5kmの林間コース。起伏やコーナーに富み、滑りごたえ十分。冬季は、静寂を生み、漂う凜とした空気が選手達を駆り立てる白銀の林間コースとなる。



(ジャンプ台)

鹿角市が一望でき、サマーシーズンでも全国に知られる全日本スキー連盟公式ジャンプ台。今季、助走路改修し、滑走レールにクーリングシステムを導入。気温による影響を最小限に、好コンディションで選手のベストパフォーマンスを支える。



第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に向けて

伝説の里鹿角に、冬の感動 ふたたび



「美の国あきた鹿角国体」の開催に向けて

秋田県観光文化スポーツ部

スポーツ振興課 課長 吉井和人

令和3年2月18日（木）から21日（日）まで、鹿角市において第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会「美の国あきた鹿角国体」が開催され、大会期間中は、全国から選手・監督をはじめ、関係者約2千人が来県し、4日間にわたり熱戦が繰り広げられます。

鹿角市での冬季国体の開催は、8年ぶり5回目となりますが、令和4年の2月には、史上初となる2年連続同一市での大会開催も決定しております。

競技会場となる花輪スキー場は、アルペン、ジャンプ、クロスカントリーの各競技を一か所で運営できる数少ないスキー場として、毎年、全国規模の大会が開催されておりますが、今大会の開催に向けて、ゲレンデの人工降雪機やジャンプ台助走路の改修工事等を行い、これまで以上に安定した競技運営が可能となったところです。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くのスポーツ大会が延期、中止となっていることから、安全・安心な大会運営を心掛け、感染防止対策を徹底することとしています。

全国各地から集うトップ選手がその実力を存分に発揮できる大会となるよう、引き続き関係機関との連携を図りながら、しっかりと準備に取り組んでまいります。



第76回国体冬季大会に向けて

鹿角市国体実行委員会

会長 児玉 一

(鹿角市長)

第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会は、来年2月に花輪スキー場を会場に開催されます。

本市でのスキー国体の開催は7年ぶり、旧町村時代を合わせると通算6回目の開催となります。

また、第77回大会の開催も決定しており、国体史上初となる2年連続での開催は、これまで多くの関係者や市民が一体となって培ってきた大会開催への熱意に対する信頼の賜物とたいへんな荣誉に感じております。

会場となる花輪スキー場は、アルペン、クロスカントリー、ジャンプの3つの競技をすべて行うことが出来る、国内でも屈指のスキー場としてとても高い評価をいただいておりますが、今年新たにアルペン会場に8台の人工降雪機を設置したことにより既存の降雪機と合わせ十分な積雪が確保され、より良質なコースの整備が可能となりました。

さらに、ノーマルヒルジャンプ台の助走路にはクーリングシステムを導入し、世界標準のジャンプ台へと改修を終えております。

新型コロナウイルスの影響により、多くのスポーツ大会やイベントが中止を余儀なくされておりますが、こうした状況が1日も早く収束に向かうことを願うとともに第76回大会はコンパクトでスムーズな競技会実施を目指し、新型コロナウイルス対策を講じるなど国体にかかわるすべての皆さんの安心・安全の確保に万全の準備を進めてまいります。都道府県の代表として参加される選手の皆さんには、郷土の誇りを胸に戦うことはもちろん、新型コロナウイルスを打ち負かすような素晴らしいパフォーマンスを発揮されることを期待します。



第76回国民体育大会冬季大会に向けて



【スケート競技会（スピードスケート）】

開催地：岐阜県恵那市 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場
会期：令和3年1月27日（水）～31日（日）
テーマ：ぎふクリスタル国体2021『銀嶺に きらめく夢は 無限大』

【スキー競技会】

開催地：秋田県鹿角市 花輪スキー場
会期：令和3年2月18日（木）～21日（日）
テーマ：美の国あきた鹿角国体『伝えよう感動 繋げよう絆』



『今後の活躍に期待』 秋田県スケート連盟 島本知克（理事長）

スピード部においては、平成19年秋田国体を機に主力選手は引退し、本県におけるスピードスケートの競技人口が減少しました。その課題を解決させるべく、平成27年度からタレント発掘育成事業「AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト」に参加し、発掘・育成・強化を進めてきました。この事業は、オリンピック選手を輩出しようというもので、現在活動しているスピードスケート競技のタレントは12名（小学4年～中学3年）となりました。発掘したタレントの1期生2名が中学3年生になり、国体参加基準の日本スケート連盟バッジテストB級をクリアしているため、今年度の国体への参加資格を得ました。新たな時代に入ったと言えます。

この1期生・2期生は、2018年から全日本ノービス大会で毎回入賞しており、昨年度の全国中学校大会では決勝へ進む選手も出てきました。着実に力をつけてきていると自負しております。ただ、国体で活躍できるレベルまでは到達しておらず、今後に期待できる要素を備えた段階といえます。

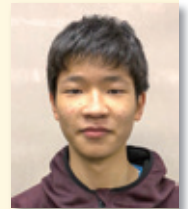
また、タレント以外にも中学3年生が1人おり、国体参加基準を満たしています。この選手は、タレント1期生に応募しましたが僅差で指定できなかった選手です。本人の努力とタレントとの練習が成長に繋がっていると思います。このように、タレント発掘事業でタレントとして認定された選手と、残念ながら認定されなかった選手とが互いに切磋琢磨できる環境のもとで活動しています。県の施策により今後の展望が持てるようになりました。

今後は、国体の参加基準をクリアしている3名が候補となり、県民体育大会兼国体予選の結果を基に代表を決定します。スケートは第76回国体の開幕競技のため、その後の競技によい影響を与えられるようしっかり取り組みたいと思います。

《注目の選手》

島山 諒（秋田市立勝平中学校3年）

- AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクトのスピードスケートとしての第1期生
- 令和元年度、山形県での第41回東北中学校学校スケート・アイスホッケー大会の500mで2位
- 今大会が初めての国体出場



『冬季国体に向けて』 秋田県スキー連盟 島山芳彦（競技本部長）

第76回美の国あきた鹿角国体に於いて、秋田県選手団の目指す所は、地元の利を活かし、強豪道県の北海道・長野県・新潟県を抑えて天皇杯と皇后杯（2連覇）を獲得することです。

キーポイントは、成年男女B（湊祐介、中村和司、向川桜子、石垣寿美子）の背中を追って、触発された若手選手が最後まで諦めず自分の力を信じ踏ん張ってくれるかにあります。

また、昨年の第75回とやま・なんと国体で不振であった田中聖土の復調、さらには今国体からスペシャルジャンプの馬淵源が成年男子Bに上がり優勝を狙える位置にいる所も期待されるポイントです。強豪道県の選手層の厚さでは劣りますが、各カテゴリーに日本トップクラスの選手が顔を揃えている所が強みです。



上位を狙える選手として、ジャイアントスラロームでは、少年女子は水谷美穂、高橋凜湖（角館高）、成年女子A齊藤実祐（法政大）、森永ののか（立命館大）、石塚結（早稲田大）、成年女子B向川桜子（秋田ゼロックス株）、岡本乃絵（鶴の湯温泉）、少年男子の大津歩夢（角館高）、成年男子B中村和司（秋田ゼロックス株）、成年男子C生田康弘（東京美装興業株）が挙げられます。女子チームとしては、向川、岡本を中心に少年女子と成年男子Aでの上位入賞、中でも向川は優勝（連覇）の期待が大きいです。男子チームは、オリンピックの生田康宏を中心に中村和司、大津歩夢の頑張りを期待したいところです。第75回とやま・なんと国体で繰り上げにより少年男子で1点獲得しましたが、第67回ぎふ清流国体から入賞者が出ていないので、大津歩夢には地元開催の国体では是非とも入賞してもらいたいところです。

クロスカントリーでは、少年女子の山田智子（秋田北鷹高）、成年女子Aの本田千佳（早稲田大）、成年女子B石垣寿美子（秋田ゼロックス株）、女子チームとしては石垣の優勝が期待されます。第75回とやま・なんと国体少年女子で優勝の本田千佳が成年女子Aとして実力を発揮出来るかがキーポイントです。少年男子山田龍輔（秋田北鷹高）、成年男子A田中聖土（自衛隊体育学校）、土濃塚悠成（日本大）、成年男子C大川翔平（北秋田市消防本部）、男子チームは田中の復調で優勝の期待、土濃塚が何処まで食い下がるか、また、大川の意地に期待です。女子リレーは優勝の期待、少年男子、成年男子は最低で3位、その上を目指す事が必須です。

スペシャルジャンプでは、少年男子の成田絆（小坂中）、成年男子Aの宮崎敬太（東海大）、成年男子B馬淵源（秋田ゼロックス株）、湊祐介（SEED株）。選手層は薄いですが中学生の成田絆がどこまで実力を発揮出来るか、また、馬淵源が成年男子Bで湊祐介と優勝争いを展開出来るかが楽しみでもあります。

コンバインドでは、少年男子の木村航大（花輪高）、成年男子A木村幸大（中央大）、木村吉大（専修大）、成年男子B湊祐介。少年男子の木村は3位を目指します。成年男子Aの木村幸大はワールドカップ転戦により国体に出場出来ない可能性はありますが、上手く日程が合えば上位入賞が可能です。兄の木村吉大と上位争いを展開してくれれば、地元もおおいに盛り上がり上げて頂けることと思います。成年男子Bの湊は優勝の期待しかありません。必勝です。

そして、「チームAKITA1000点プラン」に少しでも貢献し、我々スキーチームが秋田県スポーツの先陣の役目を果たしたいと考えております。

以上のことから、第76回美の国あきた鹿角国体では、天皇杯と皇后杯（2連覇）を勝ち取る可能性の高い布陣であり、このチーム秋田をまとめる監督、コーチの一丸となったチームワークにより、素晴らしい結果をもたらしてくれるものと信じています。

我々の誇りである競技に対する情熱と高いスキルを存分に発揮し、全力を尽くし、チーム秋田の団結力で秋田県民の皆様へ多くの感動と喜びを報告出来るよう頑張り抜くことを誓います。

《注目の選手》



向川 桜子（秋田ゼロックス株）：ジャイアントスラローム

- 国内で優勝を重ね、高校（角館高校）時代から日本代表に選出され、これまでにワールドカップや世界選手権にも出場
- 全日本選手権、国体での優勝も多数あり、2022年の北京オリンピックを目指す
- 第75回とやま・なんと国体で優勝し、第76回美の国あきた鹿角国体は連覇がかかる

石垣 寿美子（秋田ゼロックス株）：クロスカントリー

- 国体少年女子での連覇、成年女子Aでの優勝の他、全日本選手権で優勝経験あり
- 世界選手権日本代表。2022年の北京オリンピックを目指す
- 本県の中心的な存在でリレーでは欠かせない



湊 祐介（SEED株）：ジャンプ・コンバインド

- オリンピックであり、世界選手権コンバインド団体金メダリスト
- 国内大会での優勝は数え切れない
- 全日本代表チームのコーチも務めている
- チームAKITAには欠かせない存在である





高校スポーツ いざ、冬の陣

男子第71回全国高等学校駅伝競走大会 女子第32回全国高等学校駅伝競走大会

12/20 男子12:30スタート 女子10:20スタート
京都府 たけびしスタジアム京都（京都市西京極総合運動公園陸上競技場）



【男子】
秋田工業高校
(8年連続26回目)

主将 なかがわ ゆうた
中川 雄太

第71回全国高等学校駅伝競走大会秋田県予選で優勝し、今年も都大路を走れる事を嬉しく思っています。今年の私達のテーマは『万里一空～新たな挑戦～』です。秋田県予選では、主将と副主将の怪我によりベストメンバーで大会に臨む事が出来ず、例年通り他校を圧倒する走りをする事が出来ませんでした。都大路では、チーム全員が万全の状態で行けるよう準備し、秋田工業高校最高順位の4位と昨年都大路で打ち立てた秋田県記録の2時間3分43秒を超えていくことが出来るように日々の練習に対し、しっかりと目的意識を持ち『仲間と先生方を信頼』してレース当日を迎えたいと思っています。

また、今まで支えて下さった方々に感謝の気持ちを走りでも伝えられるように、1秒を大切に粘り強い駅伝が出来るように頑張ります。

最後に、コロナ禍で大会開催が危ぶまれる中、無事大会が行われることに感謝し全力で襷を繋ぎます。



【女子】
秋田北鷹高校
(2年連続9回目※)

※旧鷹巣高校・鷹巣農林高校の出場回数含む

主将 あべ ゆうか
阿部 優華

昨年に引き続き全国高校駅伝競走大会に出場することができ、心からうれしく思います。県予選で優勝することができたのは、自分たちの力だけではなく、たくさんの方々の支えや応援があったからこそだと思っています。全国大会では30位台の成績を目標に練習に励んでいます。

今年は、例年と違う環境の中での練習となりましたが、「今」できることを考え、臨機応変に対応することができたと思っています。都大路で再び走れることを信じ、1回1回の練習や開催される大会でのレースを大切に、全国で戦えるための力を付けられるよう頑張ってきました。

全国大会では「勇往邁進」のテーマのもと、自分たちよりも遥かに強い相手でも恐れず目標に向かって挑戦し、突き進む走りをしたいと思っています。私たちの合い言葉でもある「走りでも恩返し」を胸に、秋田県の代表として、力強い駅伝ができるよう頑張ります。応援、よろしく願い致します。





全国高等学校バスケットボール選手権大会

12/23~29

東京都 東京体育館（メイン会場）、武蔵野の森総合スポーツプラザ（サブ会場）



【男子】
能代工業高校
(3年連続49回目)

主将 なかやま げんき
中山 玄己



【女子】
湯沢翔北高校
(12年連続20回目※)
※旧湯沢北高校の出場回数含む

主将 しんばやし みゆ
新林 未悠

私たち、能代工業高校バスケットボール部は、ウインターカップ予選を勝ち抜き、ウインターカップの出場権を獲得しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響でインターハイや国体など各種大会が無くなり、とても悔しい思いをしました。また、来年度からは校名が変わり、能代工業として最後の大会となるため、伝統である激しいディフェンスから速い攻めの「走るバスケット」、リバウンドやルーズボールに飛びつくという泥臭いプレーで「日本一」を達成したいと思います。

応援してくれる地域の方々、全国からの支援など周りの人の支えがあるからこそ、今、バスケットボールができています。この感謝の気持ちを忘れずに、全国の舞台で能代工業らしさを出したいと思います。全国で能代工業のバスケットを見せることや勝ち続けること、「日本一」という目標を達成することで感謝の気持ちを伝えることができていると思っています。

大会まで残りわずかですが、自分たちのできる最大限の努力をしていきます。

今年もウインターカップに出場できることになり、うれしさと安心感で一杯です。

春以来、学校での練習を中心に地力を上げることに取り組む我慢の日々が続きました。“見えない敵”との戦いを想定して厳しい課題が与えられましたが、学年の隔たりなく全員の力で頑張ってきました。今では18人の1年生がチームを支える大きな力になっています。今年度初めての公式戦となった県予選大会では、大きなプレッシャーを感じながら戦い、チームとしても個人としてもとても不安定な内容になってしまいました。本番までにはこの課題を解決し、チームの特徴であるスピードある攻防と3ポイントシュートに磨きをかけ、自分たちの満足できるバスケットを表現したいと思います。私個人としては、先輩たちと同じように全国大会のコートに自分の足で立てることに大きな誇りを感じます。また同時に支えてくださった方々への感謝の気持ちも湧いています。このような思いを試合で表現できるようにチーム全員の力をコートに集結し、清々しい戦いになるよう挑みたいと思います。





高校スポーツ いざ、冬の陣

全日本バレーボール高等学校選手権大会

1 / 5~10

東京都 東京体育館



【男子】
雄物川高校
(26年連続26回目)

主将 あかがわ 赤川 いくや 育也



【女子】
秋田北高校
(3年連続5回目)

主将 こしらかわ 小白川 かりん 華林

今年度は、例年と大きく異なり次々と大会が中止になってしまいとても悔しい想いをしました。練習や他の強豪校と練習試合が出来ず、不安な気持ちで一杯でした。そんな中で春高バレーの開催が決まり、一層練習に力が入りました。全国大会で勝つために厳しい練習に耐え、頑張ってきたのでとても嬉しかったです。私たちは、この1年間レシーブとブロックの強化をしてきました。自己犠牲の精神で粘り強く一生懸命ボールを追いかけて、高さあるブロックでしつこくワンタッチを取りディグアタックに繋げることで、「執念」のバレーを作り上げてきました。

春高バレーでは、バレーボールができるありがたみを噛み締め、昨年負けた悔しさ、そして様々な大会が無くなった悔しさをバネに全力でプレーしていきたいです。また、いつも支えて下さる地域の方々や家族に感謝の気持ちをプレーで伝えられるように最後まで諦めず戦い抜きます。

3年連続全日本バレーボール高校選手権大会への切符を勝ち取ることができ、とても嬉しく思います。

私たちはこの1年、全国ベスト8を目標に基礎練習や走り込みを徹底的に行い、1本も無駄にはいけないという緊張感を持って日々追い込んだ練習をしてきました。秋田県予選ではその成果が試合終盤の粘りにあらわれ、手応えを感じることができました。しかし、目標を達成するためには更なるレベルアップが必要です。チームの課題であるブロックとレシーブを強化し、テンポの速いバレーを展開していきます。そして春高はこのメンバーで戦える最後の大会になります。日々、私たちがバレーボールに打ち込めるよう支えてくださっているたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、秋田県の代表であることに責任を持って、最高の舞台で最高の仲間と1戦1戦全力で戦います。





全国高等学校 サッカー選手権大会

12/31～1/11
埼玉スタジアム2002・駒沢陸上競技場ほか
(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)



ノースアジア大学
明桜高校
(27年ぶり4回目※)
※旧秋田経済法科大学附属
高校含む
主将 かまだ 鎌田 たいよう 太耀

明桜高校男子サッカー部は、27年ぶりに全国大会へ出場します。県大会では攻守がかみ合い、無失点で優勝することができました。全国大会では、各都道府県を代表する強豪校と対戦できる「楽しい気持ち」と、秋田県代表としてプレーする「責任」を強く感じています。全国でも明桜サッカーが目指す「全員攻撃・全員守備、人もボールも動く ムービング・フットボール」を体現できるように、最善の準備をしたいと思えます。

私たちはチャレンジャーです。常日頃から指導されている「心・技・体」に更なる磨きをかけ、対戦相手に臆することなく挑み、チーム一丸となって戦ってきます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が制約される年になりました。その中でも、何とか全国大会を開催しようと、多くの方が力を尽くしてくださったと思います。支えてくださる人たちのために、全力で戦う姿をお見せすることが私たちにできる恩返しです。「感謝・謙虚・素直な心」、全国大会でも感謝の気持ちを全力プレーで表します。応援をよろしくお願いたします。



全国高等学校 ラグビーフットボール大会

12/27～1/9
大阪府 東大阪市花園ラグビー場
東大阪市多目的広場



秋田工業高校
(3年ぶり68回目)
主将 かわせ 川瀬 しょうた 翔太

先日行われた第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選で優勝し、3年ぶり68回目の花園への切符を勝ち取ることができました。今年度は新型コロナウイルスの影響で練習ができなくなり、また大会の中止などが重なり実践経験を積めない状況の中でしたが、優勝することができたのは本校ラグビー部に携わってくださった方々をはじめとする多くの方々の応援や支援があったからこそ出せた結果だと心から思っています。

2年連続秋田県大会決勝で敗退し、今の3年生は初の花園出場となります。初めての花園という大舞台に万全な状態で挑めるように、これからの日々の練習で意識を高く持ちさらにレベルアップして秋田工業高校ラグビー部の目標である全国制覇を達成できるようにチーム一丸となって頑張っていきます。そして、私たちを支えてくださる方々、応援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、予選に参加した他のチームの思いも背負い、秋田県代表の名に恥じない結果を残せるよう頑張っていきます。





令和2年度秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト

第1弾 パフォーマンステスト～令和2年11月3日（火）開催～

国内外で活躍できるトップアスリートを育成するため、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、選手に自身の課題を自覚させ自発的な弱点克服への取り組みを促しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で、例年より規模と時間を縮小した形での開催となりました。参加した秋田県中学生強化選手96名と、秋田県高等学校強化拠点校選手66名は、感染症対策を徹底したうえで、測定に臨みました。



選手は会場入り口で検温してからの入場となりました。検温後は、ソーシャルディスタンスを確保しながら、過去2週間分の健康チェックシートを提出し、確認を受けた選手のみが測定会場であるアリーナへと進みました。各測定箇所にはアルコール消毒液が設置され、選手はこまめに手指消毒を行いながらの測定となりました。



メンタルテスト



50m走



50m 8の字走



50m 3往復走



開脚テスト



垂直跳び

選手は、メンタルテストで競技中の自分の心理状態を確認し、宇都友博講師からアドバイスを受けました。体力測定では、秋田県選手の現状の課題を把握するため、各項目を真剣に取り組む姿が見られました。測定結果を分析、検証してくださった遠山健太講師からは、肩甲骨周りを中心とした上半身の柔軟性と股関節の可動域の改善、全身持久力やアジリティ能力の向上について今後も継続的なトレーニングが重要とアドバイスをいただきました。選手は後日郵送されたフィードバック票で、自分の強みや弱みを確認しました。浮き彫りとなった課題は、本研修の第2弾となる「指導者研修」で指導者と各競技団体強化担当者が共有し、今後の指導の手がかりとなります。選手は2月23日に開催予定の「競技力向上研修Ⅱ」で課題克服のためのトレーニングを実施し、来シーズンを迎えます。定期的な体力測定は、現段階の競技力を可視化し、具体的な目標値の設定や、疲労及び怪我を早期発見するためにも非常に有効なデータとなります。このパフォーマンステストを通じ、基礎体力の向上が競技力の向上につながることを選手が認識し、自身の競技に活かしてほしいと思います。



第14期秋田県中学生強化選手 ^{たかはし しゅう} 高橋 秋羽選手（土崎中学校3年 剣道競技）

自分の能力を改めて知ることが出来ました。部活を引退してから体力が落ちたと感じていたので、高校に向けてこれからもっと体力や筋力を伸ばしていきたいです。メンタルテストでは、自分の試合前の心理状態を知ることが出来ました。試合中に焦ったりすることがあるので、アドバイスしてもらったことを参考に、これからは冷静に対応できるようにしたいです。



期待のジュニアアスリート VOL.8



秋田県中学校秋季大会において素晴らしい成績を残した3名の秋田県中学生強化選手に、大会で感じたことや今後の目標を聞いてみました。



0. プロフィール	AWAJI	HATAKEYAMA	KONDO
	 <p>第18期 指定 淡路咲来 剣道競技 勝平中学校 1年</p>	 <p>第17期 指定 畠山七樹 ソフトテニス競技 二ツ井中学校 2年</p>	 <p>第16期 指定 近藤里映 体操（新体操）競技 御所野学院中学校 2年</p>
1. 競技との出会い、きっかけ	二人の兄が剣道をしていたので、自然と興味が湧き、自分もやってみたく思いました。	父が学生時代にソフトテニス部だった影響を受けて始めました。	姉が新体操をやっているのを見て、楽しそうだと思い、始めました。
2. 競技の魅力、醍醐味	試合で勝負する楽しさだけでなく、精神面が鍛えられ、人として成長できるところに魅力や醍醐味を感じます。	シングルスについてはいろいろな所にボールを打てると、もっと勝ちに近づけるところ、ダブルスについては、一本一本どう攻めるかなどを決め、ゲームを作るところが魅力です。	音楽に合わせて、手具を使って踊ることです。人それぞれ得意な技や、自分に合った動きが演技に入っているところが見どころでもあります。
3. 自分のストロングポイント	打突のスピードと連続して攻め続けることだと思います。	相手が打ってくることを予想して、そこを特にスマッシュなどで、得点を決めるところだと思います。	柔軟性を生かしたしなやかな動きをすることです。
4. 中学年代での具体的な目標	全国大会に出場し、全国の強豪チームや選手と戦い、上位入賞することです。	全国中学校総合体育大会、ベスト8を目指しています。	全中や全日本Jr.に出場し、全国の代表選手たちと自信を持って競い合えるようになりたいです。
5. そのために日々取り組んでいること	1日1日の稽古を大切に、どんなことにも全力で取り組むことです。得意技だけでなく、たくさんの技を試合で使えるように繰り返し練習しています。また、体が硬く柔軟性が低いのでストレッチを頑張っています。	平日の部活終わり、休日の部活前、終わった後などに自分と同じポジションの上手な選手のプレイを動画で見て、次の部活などで、自分にできるか試してみ、できなかったらそこを重点的に練習しています。	難易度の高い演技ができるよう正確な手具操作のトレーニングを日々頑張っています。
6. 全県新人戦で意識したこと	自分のやるべきことが何かを意識し、率先して声を掛け合いながら頑張りました。	それまでの試合から、今の自分にできることを確認して、昨年より良いプレイをすることを意識しました。	練習してきたことを自信に、笑顔で落ち着いた演技することを意識しました。
7. 全県新人戦で優勝に繋がった要因	今年はコロナ禍のため試合が少なかったこともあり、試合ができることに感謝しながら、一人一人が自分のポジションの役割を果たし、『つなぐ試合』ができたからだと思います。	決勝戦の前にリラックスして、笑顔で終わるように心掛けたことで、決める場所をしっかりと決めることができましたからだと思います。	市の大会での反省点を分析し、より濃密な練習をして、取り組んだからだと思います。



TOKYO2020

オリンピック パラリンピック

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、今年の夏に開催されるはずだった東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期となりました。世論では「来年本当にオリンピック・パラリンピックが開催できるのか」との不安の声や「開催すべきではない」との開催に否定的な声も少なくありません。

そんな中、コロナ禍で入国制限が設けられて以降、オリンピック競技では初めて、国内に海外選手を招く国際大会（日本、中国、ロシア、アメリカによる体操の国際大会）Friendship and Solidarity Competition（友情と絆の大会）が11月8日（日）に東京で開催され、ロシア選手団がチャーター機で来日した様子や、中国選手団が防護服を身にまとい来日した映像が報道されました。参加した各国が、コロナウイルスを日本に持ち込まない、感染しないという心構えとコロナ対策に万全を期した他、ホスト国である日本体操協会の準備も完璧に近いものであり、来年に延期されたオリンピック・パラリンピックも「こうすれば開催できる」と一つのモデルになった大会であったと思います。

また、閉会式では、オリンピック体操競技個人総合で、2大会連続金メダルを獲得した内村航平選手が、「コロナウイルスが感染拡大し、国民の皆さんの中でオリンピックを開催できないと思う人が80%を超えていると知って残念に思う。できないではなく、どうやったらできるかを皆さんで考えて、どうにかできるという方向に考え方を変えてほしいです。国民の皆さんとアスリートが同じ気持ちじゃないと大会はできないと僕は思う。」と国民に向けて発信（スピーチ）したのが印象的でした。



【基本合意書の締結】

大館市 タイ「ボッチャチーム」「パラ陸上チーム」 事前合宿地

大館市は、2018年12月16日にタイ王国脳性まひスポーツ協会（ボッチャ競技とパラ陸上競技を所管する団体）と事前合宿に関する基本合意書を締結しました。

事前合宿が決まってから、市ではタイの言葉や文化を知ってもらおうと、タイ人を講師として招き、市民や市職員を対象とした講座を開きました。

また、2019年9月25日から10月5日まで、タイのボッチャチームとパラ陸上チームが大館市でキャンプを行った際に、本大会に向けたリハーサルを行い、課題を把握することができました。特に宿泊施設（バリアフリー化されている部屋が1室しかなく、浴室やトイレ等の間口や段差等）の問題や、移動の際に10人程度の車椅子選手を一度に輸送できるバスが県内に無いこと等、課題が山積となりました。

担当者の大館市観光交流スポーツ部スポーツ振興課スポーツ交流推進係工藤史尚係長は、「コロナ禍の中であるが、選手が安心して、安全にプレーできるように万全の準備をして選手を迎え、この事前合宿を契機に秋田犬をはじめ、大館の食文化や観光地を発信し、タイとの経済交流も積極的に行いたい。」と話していました。



ボッチャチームのキャンプ地
(タクミアリーナ)



パラ陸上チームのキャンプ地
(長根山陸上競技場)



タイボッチャチームと市民との交流会
(タクミアリーナ)

共生社会ホストタウン登録（県内初） ～ユニバーサルデザインの街づくり～

東京パラリンピックに向け、障害者らが住みやすい街づくりを進める国の「共生社会ホストタウン」に、県内で初めて登録した大館市は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、共生社会を実現し、「ユニバーサルデザイン（誰もが利用しやすいように配慮された設計）化」と「心のバリアフリー（様々な心身の特性や考え方を互いに理解を深める）」を推進しています。

大館市では、今年10月「バリアフリーまち歩き点検」を行い、障害者と一緒に市中心部を歩き、道路の段差や点字ブロックの状況などを確認しました。点検結果は、第2期市総合戦略（2020～2024年度）の重点プロジェクトの一つである「バリアフリーまちづくり」計画の参考資料とするほか、バリアフリーマップの作成を検討しています。



『2020アスリート支援YouTube企業セミナー』開催

～秋田に定住しながら仕事と競技の両立を目指すアスリートを支援～

本会では、平成28年7月に厚生労働大臣から無料職業紹介事業の認可を受け、スポーツ推進課内に「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を設置し、JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）の就職支援制度「アスナビ」をモデルに、本県におけるアスリートと企業等のマッチングサポート事業を実施しています。

事業周知を目的に、企業の皆様・競技関係者を対象とし、第1回セミナー「2017新春セミナートップアスリートを秋田から」を平成29年2月28日に開催したのを皮切りに、毎年開催し、昨年は11月21日に第4回セミナー「2019アスリート支援企業セミナー」として、開催しております。

また、昨年は2020東京オリンピック開催の前であり「アスリート競技活動サポート事業」で企業とのマッチング第1号のカヌー・スラローム佐藤彩乃選手（AKH秋田病理組織細胞診研究センター）がオリンピック出場内定秋田県第1号決定も重なり、応援紹介も含め好評のうちに開催できました。2021年に延期となった東京オリンピック、佐藤選手の活躍に大いに期待しております。みなさんで応援しましょう。

さて今年度は、コロナ禍における新たな形式でYouTubeセミナーを開催しておりますので、誌面で概略をご紹介します。

（尚、2021年1月5日からは（公財）秋田県体育協会HPにセミナー内容を掲載しております。ネットで【アスサポアキタ】と検索しご覧いただけます。皆様のアクセス、ご参加をお待ちしております。）

《2020アスリート支援YouTube企業セミナー》

開催期間 2020年11月24日（火）～12月15日（火）

秋田にAターン 仕事と競技の両立 好事例の紹介です

佐伯美空選手（ボート） × 株式会社 加藤建設

第一部《アスリート編》 佐伯美空選手（ボート） 2020.4.1入社

大潟村出身のトップアスリート（富山国際大学卒）
2019/全日本大学選手権大会【女子舵手なしペア2位】
2019/全日本選手権大会【女子舵手なしペア2位】

■登壇者

佐伯選手/大潟ローイングクラブコーチ松橋拓郎さん
秋田県ボート協会 成年強化担当責任者 須田康公さん



第二部《企業編》 株式会社 加藤建設 男鹿市払戸

2019年10月 秋田県女性の活躍推進企業表彰受賞
2020年7月 国土交通省東北地方整備局「工事成績優秀企業」認定（2年連続）
2020年8月 秋田県優良工事表彰受賞（5年連続9回目）

■登壇者

（株）加藤建設 代表取締役 加藤正己さん

第三部《総集・事業紹介編》

- ・これまでマッチングしたアスリートと企業の紹介
- ・秋田県アスリート競技活動サポート事業の紹介
- ・秋田県トップアスリート無料職業紹介所（公財）秋田県体育協会

■ナビゲーター

ご案内はシャバ駄馬男さん（TVやラジオ、CM出演、スポーツMCと多彩）

◎お問い合わせは.....

— 公益財団法人 秋田県体育協会 —

秋田トップアスリート無料職業紹介所（厚生労働大臣許可番号 05-ム-300018）

担当者 就職推進アドバイザー 佐々木 功

所在地 〒010-0974 秋田市八橋運動公園1番5号 スポーツ科学センター2F

電話 018-864-8094 / FAX 018-864-5752

E-mail akitaiky0711@yahoo.co.jp

HP <http://www.akitaiky.or.jp/job/> アスサポアキタ

検索



県内スポーツの主なできごと

9月

29日 県は、2022年2月に鹿角市花輪スキー場で開かれる第77回国民体育大会冬季スキー競技会の愛称を「美の国あきた鹿角国体2022」、スローガンを「伝えよう感動 繋げよう絆」と発表。同スキー場で行われる第76回大会を引き継ぎ、愛称に2022を加えた。スキー国体としては史上初の2年連続開催となる

10月

- 6日 東京パラリンピックでタイのボッチャ、陸上競技の各選手団が来年7、8月に大館市で事前合宿を行うことを確認した。大館市は、TOKYO2020オリ・パラのタイのホストタウンに登録されている
- 11日 レスリングの全国高校選抜大会 男子51キロ級で山下修誠（秋田商2年）が3位
- 12日 日本中学校体育連盟は、2021年1～2月に行われるスキー・スケート・アイスホッケーの冬季の全国中学校体育大会を予定通り開催すると発表
- 13日 第91回都市対抗野球2次予選東北大会でTDKが7年ぶり15度目の本大会出場を決めた
- 16日 全国中学生陸上競技大会女子200メートルで三浦夏恋（泉中3年）が6位
- 18日 バドミントンのデンマーク・オープン2020で永原・松本組（北都銀行）が準優勝
- 23日 日本サッカー協会がU-17女子日本代表候補トレーニングキャンプに招集する26人を発表、JFAアカデミー福島DF石川璃音（秋田市出身）が選ばれた
- 24日 第7回木南道孝記念陸上競技大会 女子400メートル障害で関本萌香（大館鳳鳴高出身）が優勝
- 24日 カヌースラロームジャパンカップ 男子カナディアンシングルで佐々木将汰（万六建設）が優勝
- 25日 第43回HNK杯全日本カヌースラローム競技大会 男子カナディアンシングルで、佐々木将汰（万六建設）が優勝 女子カヤックシングル、カナディアンシングルで三島廉（万六建設）が優勝し2冠に輝く
- 25日 ボートの全日本大学選手権女子シングルスカルで茂内さくら（秋田高出身）が優勝し、男子エイトで佐藤大也（本荘高出身）がメンバー入りした仙台大学が優勝
- 25日 全日本大学女子駅伝で大東大6区の鈴木優花（大曲高出身）が区間新記録の力走でチーム順位2位に貢献
- 26日 プロ野球ドラフト会議で石井大智（秋田高専出身）が阪神タイガースから8位指名を受け、赤上優人（角館高出身）が西武ライオンズ、佐藤宏樹（大館鳳鳴高出身）がソフトバンクホークスからそれぞれ育成1位で指名された

11月

- 7日 パラ水泳秋季記録会 男子50メートル背泳ぎで菅原紘汰（秋田きらり支援学校出身）が日本新記録をマークした
- 11日 プロ野球オリックスは来季監督に中嶋聡氏（旧鷹巣農林高出身）が就任すると発表した
- 12日 県スポーツ少年団は、日本スポーツ少年団顕彰の伝達及び県スポーツ少年団功労者など計14団体、個人25人の功績を称え、表彰式を行った
- 16日 日本バスケットボール協会は、3人制の日本代表候補16人に秋田ノーザンハピネッツのガード保岡龍斗を選出した
- 18日 サッカーのブラウブリッツ秋田は、3年ぶり2度目の優勝を果たしJ2昇格を決めた
- 24日 第19期中学生強化選手として2競技4人の指定を発表した
- 25日 2021年3月開催予定の魁星旗高校剣道大会が2022年3月に延期されることが決定

秋田県体育協会への御寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へ御寄付をお願いしております。公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）等の特例対象となります。スポーツ立県を支え、実現していくために多くの皆様の御理解、御協力をお願いします。

令和2年9月12日から令和2年11月30日までの間、寄付申込みをいただいた法人・団体・個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】 一般社団法人日本建設機械レンタル協会 カイテン株式会社

令和2年度 秋田県体育協会 賛助会員

県体育協会の賛助会員として、事業推進に御協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【法人会員】 秋田県ソフトボール協会

編集
後記

高校スポーツ。これから始まる冬の陣!!プレッシャーを勇気に、努力を力に、みんなの応援は追い風に、君たちの勇姿がみんなの心・体を熱くする。秋田県勢の躍動・活躍が楽しみです。また、開催間近の第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会、安全・安心開催に、新たな感動・活躍が待っているはず。素晴らしいシーンに出会えることを期待したいと思います。最後に、本誌の発行にあたり、御多用の折、取材・原稿執筆、写真の提供など御協力くださいました皆様、ありがとうございました。



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ ム 宿 泊 ラ 室
ト レ ニ ン グ ル ー ム ン シ ャ ン
温 水 プ ー ル 室 ス ト ラ 浴
研 修 ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム (サウナ有)



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322

駄菓子・ワジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら 検索

☎018-832-6766



資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エイコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 菅 谷 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

インスタマガジン公開中!!

これまでも
これからも
秋田米

＃秋田農家ごはん

スペシャルサイトはこちら



美人を育む秋田米
あきたこまち

JAグループ秋田・JA全農あきた



想
像
創
造
の
場

あらゆるニーズにお応えする

松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760
FAX 018-863-0005

http://www.matsubarainsatsu.co.jp





仲間と一緒に
楽しく

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®


4名以上の団体・グループで
ご加入ください

文化活動、レクリエーション、ボランティア、地域活動などでもご加入できます



傷害保険



賠償責任保険



突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体・グループでの活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2020年4月1日午前0時から2021年3月31日午後12時まで（申込受付は2020年3月から）

掛金

掛金（1人年額800円～1,850円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります
ただし、危険度の高いスポーツを補償する区分は11,000円

補償内容

傷害補償は、死亡2,000万円、後遺障害3,000万円を最高に、活動内容・年齢によって異なります
詳しくは、ホームページなどをご覧ください



公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部**
（公財）秋田県体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5
秋田県スポーツ科学センター内

TEL

018-883-0360

電話受付時間 午前8時30分～午後5時（土、日、祝日を除く。）



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

*インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（2020年4月予定）〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災
損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 三井住友海上 AIG損保

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

2019年12月作成 19-T05158